

私の就活でこれをやってよかった！

周りから力を借りる

今日は留学生のための就活実用 TIPS 第三弾として、就職活動の中で周りから力を借りるということで、たくさんの人と話してみることをお勧めします。

正確に言えば、意識的にたくさんの人と話すことです。それは、就職活動の情報を収集するだけではなく、面接の準備や練習にもなるでしょう。企業から内定を獲得するまでほぼ避けては通れないのが面接ですが、数分間という短い時間から、長くとも1時間程度の面接の中で、いかに面接官に効率よく自分のことを知ってもらうのが大事なのです。さらに、様々な人と就職活動について話すことによって、自分の考え方を整理し、今まで気づかなかったことにも気づくようになることがあります。その業界や企業に目を向けた理由や将来やりたいことなど、たとえ面接の場で聞かれなくとも、誰かと話し、語ることによって、自分や社会への認識をより明確なものにすることができます。そして、留学生にとって重要な一つとして、これらの相談や話を日本語で行う機会があれば、日本語の上達にもつながります。

感染症の状況が依然と厳しい中、対面で話したり、相談したりする機会が大幅に減りました。情報があふれているような時代に身を置いているが、それらの情報や人との繋がりを自ら取りに行く必要が以前よりも増してきたように感じています。私もこのような状況下で就職活動をしてきたことで、「意識的に」たくさんの人と話すことが重要だと感じました。それでは、具体的に誰と、どのように話していけばいいのでしょうか。結果的には、とにかく多くの人と話してみるということになりますが、それはあまりにも広すぎると言われるかもしれません。就活をしている仲間、つい最近就活を終えた先輩、OBOGの社会人、学校のキャリアセンターやNPO、外国人雇用サービスセンターの相談窓口など、まずは声を掛けてみましょう。最初はどこから始めたらいいかわからなくても、戸惑う必要はありません。みなさんは「六次の隔たり」という言葉を聞いたことはありますか。それは六つのステップ（例えば6人）を通していけば、世界中すべての人とも知り合うことができるとという原則です。つまり、小さな一歩を踏み出していけば、その後の行動範囲がどんどん広がっていくのです。就活の悩みや自分の経験と考え方、興味のある業界や企業、社会のこと、企業のこと、模擬面接など様々なことについて、積極的に聞くといいでしょう。そして、グループディスカッションの練習に参加してみたり、就活と直接に関係がなさそうな人とも話してみたりしましょう。必ずしも就活に関する話題でなくとも、どこかで新しい発見につながるでしょう。

そして、もし就職活動で不安や焦りを感じたら、一人で抱え込まないでください。就職活動の中で一人でやるのがたくさんありますが、一人では難しいこともあるので、不安を感じていたら、あるいは様々なことについて知りたいと思っていたら、まずは誰かと話してみましょう。それに、就職活動では不安や焦りが付き物だとも言われています。これは自分のことを認識し、社会について学ぶよいチャンスのだと捉えていけば、きっと焦りや不安も減っていきます。振り返ってみる時に、成長した新しい自分が見えてきます。

(公財) 大阪国際交流センターでも、「外国人のための相談窓口」が開設されているので、様々なことについて無料の相談ができます。日ごろから、留学生にお得な情報や大切な情報を発信する無料のメールマガジンも発行しています。ご興味があれば、ぜひ登録してください！メールマガジンの登録フォームはこちらです→

<https://ryuml.iho-server.com/>

我的求职葵花宝典

向周围的人借力

作为在日留学生求职建议的第三弹，今天就“向周围的人借力”这一话题，推荐大家在找工作的期间，多和周围的人们进行关于求职活动的交流和沟通。

准确地来说，应该是有意识地多和各种人进行交流和沟通。我们不仅仅可以通过和他人的交流来获取关于找工作的相关信息，也可以把这种交流和沟通视作面试前的一种准备和练习。要获得企业的 offer，几乎避免不了经历面试这一过程。短的只有几分钟，长的也就一个小时的面试时间里，做到让面试官迅速地对自己有一个好的了解是非常重要的。并且，通过向各种各样的人讲述求职相关的话题，能对自己的想法进行一个整理，也可能获得从前没有接触到过的新启发。诸如，“我为什么会关注到这个行业和这家公司”，“我今后想要做些什么”等等。哪怕是面试的时候没有被问到这些问题，通过同他人交谈，对他人进行讲述，我们也能对于自己和所处的社会有一个更加清晰的认识。然后，对于留学生来说很重要的一点是，如果能有机会用日语来进行这些讲述和交谈，也能起到练习日语的作用。

当下疫情依旧形势严峻，相比从前没有那么多的面对面交流的机会。然而虽说是身处信息爆炸的时代，却也更加感觉到这些信息和与他人的连结是多么地需要自己主动伸手去获取。我也是在这样一个情况下经历了找工作的过程，深感“有意识地”多和人交流有多么重要。那么，又具体地要和谁，进行怎样的交流和沟通呢？

从结果来讲，就是不管怎样多和各式各样的人“接触”吧。然而这也未免太过于宽泛。比如，同在找工作的伙伴，刚找到工作的前辈，已经毕业进入社会的前辈，学校的就职中心和 NPO、外国人雇用服务中心等的咨询窗口等等，不管怎样先打声招呼，问一问看。起先可能不知道要从哪里开始比较好，那也不必感到疑惑。正如“六度空间理论”所指出的那样，通过六个步骤（比如说 6 个人）就能认识全世界。也就是说，一开始迈出的虽然是一小步，那之后活动的范围就会一步步扩展开来了。关于找工作的烦恼也好，自己的经历和想法也好，或者是感兴趣的行业和公司，关于这个社会，关于某家公司，又或者是模拟面试等等，不管是什么积极地去询问和交流。同时试着参加一些小组讨论的活动，试着和乍一看跟找工作这件事不相关的人也多进行交流。不一定非要讲关于找工作的事，说不定就在哪个地方有了新的收获呢。

还有就是，如果你在求职过程中感到焦虑和不安了，不要一个人默默地承受。找工作的过程，当然有很多事是需要独自完成的，也有一些事是一个人难以解决的，如果你感到不安，或者想知道更多的信息，就找个人聊一聊吧。有人说找工作的过程就是一个充满焦虑和不安的过程。如果你能把它当作一个认识自己，了解社会的绝好机会，那些焦虑和不安也会慢慢消失不见吧。当你回顾过去时，一定会发现一个全新的自己。

这里是(公財)大阪国际交流中心，也开设有面向外国人的咨询窗口，接受各种免费咨询。我们会定期发行面向留学生的邮件杂志，传递各种有价值的信息，欢迎免费订阅！订阅请点击：<https://ryuml.iho-server.com/>